

2024年度公開講座

【前期】

学科全体テーマ	「人を守る 生活を守る」				
	教員	タイトル	概要	教室	日程
薬学科	吉井 圭佑	災害が来る前の準備と心得	災害が起こってからでは必要な物品や情報は手に入りません。日頃から準備を行うことで、自分自身を守ることに繋がります。過去の災害時の事例を踏まえ、必要な準備と心得についてお話させていただきます。	D101	6月1日
	加地 弘明	いまさら聞けない薬のはなし	病気を治すために使う薬も使い方を間違えると体に悪影響を及ぼすことがあります。そんな薬について気になることはありませんか？飲み合わせってなに？副作用は何故起こる？飲み方で気を付けるべきことは？など、いまさら聞けない基本的な薬のはなしをわかりやすく解説します。	D101	6月8日
	毎熊 隆誉	身の回りの数字の捉え方	私たちは生活する中でいろいろな物事の良し悪しやその特徴を捉えて、判断・選択して過ごしています。その生活で遭遇する数字やデータの捉え方のコツと注意点について一緒に考えてみましょう。	D101	6月15日
	見尾 光庸	食物アレルギーについて知っておきたいこと	様々な食品の成分に対して、免疫系が過剰な反応を起こすことで、食物アレルギーを起こすことがあります。アレルギー反応の背景にある免疫の仕組みと、免疫の仕組みに作用する最新の薬物治療について説明します。	D101	6月22日
	山崎 勤	病気と免疫	ヒトの体には「免疫」という機能が備わっており、ヒトが感染症や疾患・癌などの病気になる際には、「免疫」が必ず関わってきます。この「免疫」の発見から、その機能、そしてなぜ病気になるのかを解説します。	D101	6月29日
	山田 陽一	感染症の基礎知識と最新の予防法	細菌やウイルスが引き起こす感染症は人類にとっての大きな脅威である。感染症の基礎的な知識と、感染症対策の最前線として、講師らのチームが行っている新しい取り組みを紹介する。	D101	7月6日

【後期】

学科全体テーマ	「争い」と地域社会				
	教員	タイトル	概要	教室	日程
総合歴史学科	鈴木 琢郎	エミシ反乱の前夜	中央政府とエミシとの決定的な対立は奈良時代初め頃から見られます。なぜ、朝廷とエミシは対立し、交戦状態に入ったのか。この答えを探るためにエミシ反乱の前夜の東北地方の状況を俯瞰してみようと思います。	D101	9月28日
	小林 亜沙美	聖地奪還が目的？十字軍の背景と本質とは	1096年にカトリック教会は聖地エルサレムの奪還を掲げ、「十字軍」が始まりました。この呼びかけの背景や、軍行の実態、十字軍の関与者たちが抱いていた様々な個人的な目的やその結末に迫ります。	D101	10月5日
	井上 あえか	アフガニスタン紛争とパキスタンの地域社会	長いアフガニスタン紛争によって、隣国パキスタンも大きな影響を受けてきました。パキスタン政府が政策的にアフガニスタンに関わってきた面もあります。パキスタン社会の変化を考えます。	D101	10月12日
	渡邊 将智	漢王朝の防衛体制と辺境地域	中国古代では匈奴・西羌などの諸民族が漢王朝の支配地域にたびたび侵入しました。漢王朝はどのような防衛体制を構築し、諸民族の侵入を防いだのでしょうか。漢王朝の防衛体制を通じて辺境地域の社会を概観します。	D101	11月2日
	山本 航平	アンテベラムからポストベラムへ—アメリカ合衆国史における南北戦争	アメリカ合衆国史上最大の犠牲者を出した南北戦争(1861-65年)を取りあげ、同戦争を経てアメリカ社会がどのように変容したのかにも注目しながら、南北戦争が有する歴史的意義を考察していく。	D101	11月9日
	中山 穂孝	戦後復興と観光事業の推進	終戦直後から戦後復興のために観光事業を推進すべきとの声が高まり、政府も観光事業の推進の必要性を認識していました。戦後復興期において観光地がどのように整備されたのか、その意義について考えたいと思います。	A112	11月16日

※11月16日のみ会場が異なります。ご注意ください。

*** 本年度の公開講座の開催日時・場所等と申し込み日程について ***

会 場 本学D館101教室

時 間 10:00~11:30

受講料 無料

定 員 80名

申込受付開始日 前期講座 5月1日(水)~

後期講座 8月28日(水)~

申込方法 郵送、FAX、E-mailにてお申し込みください。

お問い合わせ・申込先 就実大学・就実短期大学 庶務課 公開講座担当

TEL 086-271-8111 FAX 086-271-8222

〒703-8516 岡山市中区西川原1-6-1

E-mail soumu@shujitsu.ac.jp